

ニッポンの夜明け。初の国家誕生!

弥生時代(紀元前400年～西暦260年頃)のあとの古墳時代。大和(奈良県)を中心に、畿内各地で力をもつ有力一族(豪族)たちが集まって政治を執り行う連合政権「ヤマト政権(初の国家ともいわれる)」が誕生。大王(後の天皇)を中心にした統治支配がはじまりました。

— 首長会議 —



合議制での政権運営

ヤマト政権は、畿内各地で本拠地を持つ有力豪族たちが寄り集まってできた連合政権だ。豪族たちは、普段は自身のホームグラウンドに住み、国政を審議する必要がある場合は天皇のもとに集結。合議制のもとで政治が運営されていた。

— 首長の村 —



と、いつわけてわれらはヤマト政権の一員である。

みなものは誇りに思い、大王のために、いっそつ励むように。

そういえば、戦国時代にもお城があったなあ…。現代でいうところの高層ビルも、ステータスだし!!?



ちなみに権力の象徴は、仏教の伝来後、古墳から仏教建築へと変化します。昔から大きな建造物は、強大な力を示すシンボルだったんですね。

鉄を支配するものは国を支配する?

弥生時代に朝鮮半島からもたらされた鉄は、農耕・狩猟道具などに加工され、暮らし・文化を飛躍的に向上させた。いわば、文明の利器のようなものだ。ヤマト政権の誕生後は、ヤマト政権が鉄の流入を一手に担うようになり、政権に加盟していれば、この鉄の供給を受ける恩恵に預かれたという。

基本さえ押さえれば、奈良はもっと楽しい!

15分でわかる “日本の創生記”

平城京遷都までストーリー



古代、「倭(わ)」が「日本」と呼ばれるようになったのは、7世紀後半から8世紀初頭といわれている。本書では、分かりやすいように表記を「日本」に統一。また、大王が天皇と称されるようになったのは、7世紀に入ってからとされるが、前述の理由と同じように、表記を「天皇」と統一する。